



読者の声

元気で70代の青年団

京丹波町・林 恵美子(主 婦・75)

「七十代 おらが村では青年団」という川柳を見て笑ったことがある。それが今、現実となっている。京都府老人会クラブ連合が元気袋を作って、東日本大震災の被災された方に届ける旨の記事が、先日の本紙に載っていた。府内全ての老人会が対象で、私たちの支部も取り組んでいる。

この元気袋、どうすればいいかと役員会を開いた。連休で農繁期の忙しい中だったが、声別に回って集めようと決まった。せうけん、手拭い、軍手は申すに及ばず、日用品があればあれよという間に集まった。

少子高齢化の田舎町だが、「被災者のことを考えたい」と同じ老人の方に届くなら」とと気持ちよく協力していただいた。「老人会に入るのはまだ早い」と断る方もあるが、今年には私たちの支部に11人が入会した。4月から地域の小学校は閉校になった。けれども、70代の青年団は元気がいっぱいである。

祈 東日本大震災による被災者の
復興を
願う



南丹市・高屋 光夫
(無職・85)

地に届けたい。少しでも元気がなっていただけかな。老人会にいたただけるのかな。老人会員でよかったですと思ってる。

京 丹 波 町 民 会

2011年(平成23年)5月17日 火曜日